

- 市民と市長との意見交換会の内容要旨  
 令和元年8月5日 牟礼コミュニティセンター  
 テーマ1 地域共生社会の実現に向けて

No	御意見等	回答
1	<p>今回の意見交換会をはじめ、自分が参加した会合で話し合ったことを地域の人たちにどう伝えていけばいいか、悩んでいる。</p> <p>また、正直今日初めて（地域共生社会についての）PR動画を見たが、いい内容だったのでもっと積極的に多くの人に見てもらおうよう、市側もPRしたほうがいい。</p>	<p>（地域共生社会など）市役所で一生懸命考えているのだが、多くの方に伝わっていないことが大きな課題であると受け止めている。</p> <p>周知会など行っても、来てくれる人はそもそも関心がある方々であり、関心がない方にいかに伝えていくか非常に難しい。</p> <p>そういった意味でも、本日御多忙なところ集まっていた皆様が広げていただくことが重要であり、その中心としてはやはり地域コミュニティ協議会ではないかと思っている。</p> <p>是非、地域コミュニティ協議会の役員さんたちで話し合っていたら、また、市にも相談いただけたら協議会にも働きかけるので、一緒になってやっていきたい。</p> <p>特に、動画については多くの人に見ていただき、困っている方々に伝えていきたいと考えている。</p>

No	御意見等	回答
2	<p>自治会加入率が低く、子供会がない地区もある。住んでいるところの近くに遊ぶ場所もなく、結局子ども同士は学校でしか遊ばなくなり、子どもやその親の横のつながりが希薄になっていると感じる。地域のつながり構築にもっと市として力を入れてほしい。</p>	<p>自治会加入率を上げようとずっと取り組んできたが、下がる一方である。</p> <p>その理由として、自治会はあくまで任意団体であり、強制的に加入してもらわなければならないということ、また、マンションが増え、地域とのつながりがなく自治会加入につながらないといったことなどがあげられる。</p> <p>このようなことから、自治会加入・未加入に関係なく地域の人全員を構成員とする地域コミュニティ協議会というものを立ちあげたが、自治会はあったほうがいいと思うので、何とか現状の加入率を維持し、（自治会でカバーできない部分は）コミュニティ協議会が補完するという形がいいのではないかな。</p>
3	<p>今日説明いただいた地域共生社会の実現について、積極的にアピールして行ってほしい。</p>	<p>今よく言われているSDGs、そのテーマが「誰一人取り残さない」だが、それと地域共生社会の考え方というのは非常によく似ている。</p> <p>「ほっとかん」という気持ちが必要である。</p> <p>お互いさまでみんなでやっというのを地域でも取り組んでいただくとありがたい。</p>

テーマ2 コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりを目指して

No	御意見等	回答
1	<p>(住んでいるところの地理的状況から、) 公共交通を利用するまで(駅・バス停に行くまで)に車、原付、自転車等を使わざるを得ないが、駅周辺に駐車場・駐輪場がなく、公共交通を利用しにくい。</p>	<p>パーク・アンド・ライドができるところは環境整備を進めていきたいが、いきなり全て行うことは難しい。</p> <p>例えば、自転車の駐輪場の整備等、少しずつでもできるものから進めていくよう検討してまいりたい。</p>
2	<p>近年開発された地域は、公共交通が不足しているように感じるが、その辺りを充実させることについて、考えを聞きたい。</p>	<p>新たに開発された地域は車利用前提で開発されたところが多く、公共交通空白地帯になっている。</p> <p>今は、(車利用について)住民も利便性を感じていて、それを今すぐ変えるというわけにはいかないが、いずれ車に頼ることができなくなる。</p> <p>空白地帯における移動手段確保策の一つとして、コミュニティバスが考えられる。</p> <p>地域で話し合っ、地域コミュニティ主体でバスの運営を行うもので、若干ではあるが市としての支援策の仕組みがあるので、担当課に御相談いただきたい。</p>

No	御意見等	回答
3	<p>高松市を見ると、鉄道とのアクセスが不便な地域があり、高松市が進めるコンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりによって孤立化していくように感じるのだが、どう考えるか。</p>	<p>本市が進めているコンパクト・エコシティというものは、何も一か所に集約するというものではなく、そこに住まなければならないというものでもない。</p> <p>都市機能や住居を複数の拠点に緩やかに集めていこうというものであり、（周辺部を）取り残すというものではない。</p> <p>郊外では、溢水対策を行うなどの環境整備は行っていく。</p> <p>各地域で必要な対策を取りながら、30年後、50年後を見据えてまちづくりを行うというものであり、御理解いただきたい。</p>

テーマ1、テーマ2以外で

No	御意見等	回答
1	<p>福祉政策がどうしても高齢者中心になっており、子どもに対するケアの面が弱い気がする。例えば、出産一時金のような金銭面の支援制度があれば、少子化対策につながるのではと感じる。</p>	<p>高松市としては、私も市長に就任してから、子育て分野に力を入れていこうと取り組んだ。</p> <p>来年度からは中学生まで医療費を無償化する予定である。</p> <p>また、現在地域コミュニティ協議会に一括して交付金を交付しており、その用途は各コミュニティで地域の実情に応じて決めることができるので、地域の中で話し合っ、用途を決めていただけたらと思う。</p>
2	<p>行政から民生委員・児童委員に住民、特に子どもの情報が入ってこないという声もよく耳にする。個人情報保護という考えがあるのは分かるが、そのあたり何とか改善されないだろうか。</p>	<p>支援を要する方々をいかに把握するかということは、まさに、地域共生社会構築事業の3つの取組のうち、「どんな福祉の困りごとにも対応できる仕組みづくり」に関連するものである。</p> <p>各支援機関の横のネットワークがうまく機能するかどうかカギであり、関係者同士の情報共有が重要となってくる。</p>
3	<p>子どもを遊ばすことができる公園(緑が多く、ボール遊びなどができる広さの規模)がもう少しあるといいのだが。</p>	<p>いわゆる都市公園については、一校区一公園をほぼ達成している。</p> <p>確かに都会のような緑が多い大きな公園の必要性は理解できるが、すぐに整備することは難しい。</p> <p>各地域の皆様の御意見など伺いながら考えていきたい。</p>

No	御意見等	回答
4	各地域で、子どもが徒歩で行くことができる児童館等遊び場所があるといいのだが。	新たに施設をつくることはなかなか難しく、放課後児童クラブや放課後こども教室を充実させるなどの対策を図ってまいりたい。
5	学校の先生が忙しすぎて、働き方改革をしたくてもできないという状況を聞くのだが。	教員の働き方改革を進めていかないと、先生のなり手がいなくなり、結果として子どもに影響する。 市としても市費講師や特別支援教育支援員などを配置して、少しでも教師の負担軽減を図っているが、状況を改善すべく、教員の人事を所管している県教育委員会に働きかけたい。
6	地域の通学路の中で危険な交差点があるのだが、市としての対策・支援をお願いしたい。	通学路の点検については、香川県警、高松市教育委員会、高松市、そして地域の人たちと協力しながら適宜点検しており、路面標示、カーブミラーの設置、一時停止規制等について改善できるところから取り組んでいるところである。 今後とも改善内容の検証、地域の方々の御意見を踏まえ、安全対策に努めてまいりたい。
7	安全の観点から、通学路の用水路に蓋をしてもらいたいのだが。	農地と宅地が混在するようになって、水路の危険と隣り合わせになっている面がある。 用水路の管理上、蓋をすることはなかなか難しいが、近年全国的に用水路の事故が問題になっており、少なくともここだけはというところについては、時間をかけてでも考えていくべきである。 地域の声として受け止め、市としても考えていきたい。